

(別 表)

評 価 基 準

1. 審査

【合計 90 点】

(1) 実績評価

【20 点】

評価項目	様式	評価事項	評価内容	配点
① 調査業務の実績	第3号	管理担当者の実績	類似業務の実績	10
	第4号	企画担当者の実績	類似業務の実績	10

※同種業務に従事した事実及びその時の立場が証明できない場合は、E評価相当として取り扱う。

(2) 提案内容の評価

【70 点】

評価項目	様式	評価事項	評価内容	配点
② 業務の実施体制・実施方針	第5号様式①	業務実施体制	協力会社を含む業務実施体制の充実度	6
		業務実施方針	調査業務の進め方、課題認識等の実施方針の妥当性	3
		業務スケジュール	本委託業務スケジュールの妥当性	5
		協議方針	本市との協議・打合せの方法、頻度	3
③ 業務実施提案	第5号様式②	提案事項全般	業務実施に当たっての視点、提案事項全般の具体性・妥当性	4
		事業スケジュール検討	本市との調整により事業スケジュールを柔軟かつ現実的に設定することに係る視点、提案事項の具体性・妥当性	6
		実施方針及び要求水準書案の前提条件整理	法的整理及び技術検討における実施体制の充実を含む提案事項の具体性・妥当性	7
		実施方針の作成及び公表支援	事業スケジュールを踏まえ短期間の業務に対応できる提案の具体性・妥当性	4
		要求水準書案の作成及び公表支援	事業スケジュール及び事業環境を踏まえた提案の具体性・妥当性・柔軟性	6
		特定事業の選定に係る支援	市場動向を踏まえた事業費算定に基づく適切なVFM算定を行うことを前提とした実施体制の充実を含む提案の具体性・妥当性	6
		民間事業者の募集に係る支援	事業スケジュールを踏まえ短期間の業務に対応できる提案の具体性・妥当性	4

	民間事業者の評価・選定、公表に係る支援	事業スケジュールを踏まえ短期間の業務に対応できる提案の具体性・妥当性	4
	基本協定、仮契約及び本契約の締結に係る業務	法的整理及び技術的リスクを踏まえた提案の具体性・妥当性	6
	仮契約締結後における助言及び支援	提案の具体性・妥当性・柔軟性	3
	提案者による独自提案	独自提案の有無、具体性・妥当性	3

2. 評価について

- (1) 選定委員は、各項目について A～E の評価を行うものとする。
- (2) 審査点数は、各項目の配点に以下の評価係数を乗じたものを点数とする。

評価	係数	評価内容
A	1.0	極めて評価できる
B	0.8	評価できる
C	0.5	普通
D	0.3	やや評価できない
E	0.1	評価できない

3. 価格評価について（満点 10 点）

- (1) 価格評価については、次の算式により点数化する。

$$(\text{最低見積価格} \div \text{見積価格}) \times \text{価格評価の配点 (10 点)}$$
- (2) 小数点以下については、第 2 位を四捨五入するものとする。
- (3) 価格評価点の例
 ・ A 社の見積価格が 6,500 千円、最低見積価格が 6,000 千円であった場合

$$\text{A 社の価格評価点} = 6,000 \text{ 円} \div 6,500 \text{ 千円} \times 10 \text{ 点} = 9.23... \rightarrow 9.2 \text{ 点}$$

4. 応募者の得点合計

応募者の得点は、実績評価の得点・提案内容の評価の得点・価格評価の得点の合計とする。
 （満点は 100 点）

5. 2 事業者以上が同一最高得点である場合

総得点数の最高点が同点の物が複数出た場合は、価格評価の得点が最も高い者を受託予定者に選定する。